

ひむか遊パークうみウララエリア観光推進計画(案)」及び「ひむか遊パークうみウララエリア施設改修計画(案)」に関する意見募集／意見の概要と本市の考え方

※以下においては「ひむか遊パークうみウララエリア観光推進計画（案）」を「観光推進計画（案）」と、「ひむか遊パークうみウララエリア施設改修計画(案)」を「施設改修計画（案）」と表記しています。

No.	分類	意見の概要	本市の考え方
1	施設のプロモーション	・施設を効果的に周知するためには、SNS、全国版の TV、ユーチューバー等のインフルエンサーを最大限に活用できれば、全国から観光客やインバウンドを呼び込めると思います。	観光推進計画（案）においては、HP 及び SNS を用いた基本的な情報発信を行うこととしています。ご意見のあった「全国版の TV、ユーチューバー等のインフルエンサー」の活用につきましても、効果的なプロモーション方法を考える中で検討してまいります。
2	施設の改修・改善	・シーズン中は賑わうでしょうが、秋、冬、春といったオフシーズンを考えれば全室にサウナの設置が肝要だと思います。	施設改修計画（案）においては、海や島の景色が一望できる「パノラマ館」を宿泊・リラクゼーション施設に改修する計画としており、その中で、共有サウナ・個室サウナ・エステ・スパ等の整備についても 1 つの案として示しています。 また、各ケビンにサウナを設置することはかなり経費がかかることになります。そのため、ケビン等全室へのサウナの設置は計画していません。
3	施設の改修・改善	・浜木綿村のキャンプ場の利用者也期待を持てるような目玉施設として、ミニシアターにプラネタリウムを作ってはどうか。	浜木綿村の周辺は施設等も少なく、晴天の夜間には星空を楽しむ場所となっていますので、宿泊された方々には自然の中で星空を楽しんでいただきたいと考えています。また、ヘルストピア延岡内の施設の例からも、プラネタリウムは設置と管理運営に相当な経費がかかります。 そのため、ミニシアターにプラネタリウムを設置することは考えていません。

4	施設の改修・改善	・浜木綿村のパノラマ館に人工温泉化（水道水から温泉を作ること）技術を利用した温泉入浴施設を作ってはどうか。	施設改修計画（案）においては、浜木綿村のパノラマ館は「どの部屋からも海が見える」を売りにした宿泊・温浴・リラクゼーション施設としてリニューアルする計画としていますが、その中で人工温泉化技術を活用した温泉入浴施設を整備するかどうかについては、今後、費用対効果などの調査・検討が必要であると考えます。
5	施設の改修・改善	・「道の駅北浦」の売店の営業時間を午前 5 時から午後 11 時までには拡張してコンビニ化してはどうか。	「道の駅北浦」の営業時間の延長やコンビニ化については、調査・分析を十分に行ったうえで判断する必要があると考えますが、現時点では、まずは宿泊機能の整備等を優先させたいと思います。
6	施設の改修・改善	・浜木綿村のシャワー棟は、近くに河川がある関係で利用者が少ないと思われるので、シャワー棟の屋根に太陽熱温水器を設置してシャワーを温水化してはどうか。	浜木綿村のシャワー棟は、河川プールを含め主に海水浴等の後の利用を想定し、2 棟のシャワー棟を整備しています。 10 基のコイン式シャワーのうち、5 基はボイラー式の温水のものです。ボイラー自体はまだ老朽化していない状況でもありますので、ご提案の件については今後の検討課題とさせていただきます。
7	施設の改修・改善	・下阿蘇ビーチにビーチパラソルが設置可能な居場所、パーゴラ、ベンチ等を作り、日陰を作ることが必要。	いかにビーチをより快適にするかという点も大事な検討事項だと思いますので、今後宿泊機能を整備しながら考えてまいりたいと思います。
8	施設の改修・改善	・浜木綿村の駐車場の実態調査を行い、ピーク時にも対応できるようにしてはどうか。	現在、浜木綿村において慢性的な駐車場不足は生じていないものと認識していますが、今後、宿泊機能を整備しながら対応を検討してまいります。

9	施設の改修・改善	・海に近く、建物が風や海水のしぶき等で傷みやすいと考えますので素材の工夫も必要。	施設の対候性についても、施設改修にあたって十分に検討してまいります。
10	周辺施設	・近くにコンビニや 10F 建てのホテル、ラブホテル等ができれば若者が自然と集まって来るのでは。	当エリアは日豊海岸国定公園であるため、民間事業者による新たな施設整備については規制上難しい面があるところですので、今後の課題とさせていただきたいと思います。
11	観光コンテンツ	・北浦エリア、南浦エリアは、夏期を中心とした滞在型、日帰り型で進め、滞在者を対象に島野浦エリアのクルージングや遠見場山頂などを組みこめば良いと思います。	観光推進計画（案）の通り、新たにコンテンツを開発し旅行者の多様なニーズを取り入れることだけでなく、旅行者の滞在時間の長期化を図っていくことは、閑散期対策と合わせ、重要な検討事項と考えています。滞在時間の長期化は、地域内での消費額向上にとってプラスになりますので、単一の宿泊や飲食のサービス提供だけではなく、その他体験コンテンツや周遊コースの提案、各種キャンペーンを実施していくことを目指してまいります。
12	観光コンテンツ	・旅に出れば食事、現地での体験（魚とり）、人との交流、それが出来れば良いと思います。	
13	エリアのコンセプト	・気軽に行ける、手頃感のある、若い家族やグループが一夏を楽しめるような施設にしていきたい。	観光推進計画（案）においては、南浦エリアの想定ターゲットを家族（子供連れ）や学生等の若年層、インバウンドとしており、ご意見の「若い家族やグループ」も含むものと考えています。施設改修計画（案）において、須美江家族旅行村の改修計画（案）は、上記のターゲットに合わせたものとしています。
14	環境整備	・BBQ を利用している近くにゴミ箱を置いて猫とかの獲物を遠ざけることも重要。	施設の利用に伴う廃棄物の対応につきましても、十分に検討してまいります。

15	環境整備	・トイレもキレイに改修工事をし、浄化槽も大きくし近隣住民宅からの汚水も取り入れ、海をいっそうキレイにするという気持ちでないと主役の海が汚れてしまいます。	衛生面や環境負荷の軽減につきましても、十分に検討してまいります。
16	環境整備	・下阿蘇海水浴場の多目的トイレが使用できない状態で放置されている。	当該トイレは、国定公園内の施設として県が整備したものです。市は管理をする立場になりますが、市としましては、今後も定期的に清掃や点検を行うとともに、より良い施設となるよう県に働きかけてまいります。
17	防犯	・防犯のこともお願いします。	防犯につきましても、施設改修にあたって十分に検討してまいります。
18	防災	・津波避難経路に草が生い茂っているため、整備すべき。	津波避難経路については定期的に清掃等を行っていますが、今後も避難に支障がないように努めてまいります。